

平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 久保田 耕司

取組状況	
教育	<p>1. 3年生の数学である「解析学基礎」と4年選択科目「数学特論Ⅰ」の教材作成</p> <p>(1)解説プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1テーマを1枚のプリントとすることにより学習目標が明確になっている。 ・学生のレベルにあわせた解説により内容の理解が容易になっている。 ・復習が必要となったとき、その内容を見つけて学び直すことが容易にできる。 ・必要に応じて各学生が自主的に学ぶ発展的な解説を付加し、受講生のレベルにより高度な理解まで導かれる。 <p>(2)演習問題プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なものから発展的なものとなるように問題の難易度を精査して配置しており、傾斜的な配置により学生の習熟度に応じた学習ができる。 ・編入学の問題を多く取り入れており、編入学への準備が自然な形で行われる。 <p>これらのプリントによる授業により学生の学習意欲の向上が見られた。</p> <p>2. 3年の年度末に線形代数・解析学を出題範囲として学習到達度の試験を行い、学生の到達度の確認を行った。</p>
研究	<p>入学生に対して、数学の基礎学力テストおよび数学の学習に対するアンケートを行った。学力テストでは、過年度からのデータとの比較を行い入学生の学力の変化を見ている。また、アンケートでは英語のものとあわせて学生の傾向の変化を見ている。</p> <p>今年度については、次のような結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学倍率の上昇に比例する形で基礎学力テストの点数の上昇が見られた。 ・今年度の入学生は数学が面白いという学生が増えて81%となっているが、英語が面白いという学生は微減の45%となった。
社会貢献	<p>吹奏楽部の顧問として演奏会などを通して近隣との親睦を図っている。定期演奏会のお知らせを区役所の許可を得て近隣の掲示板に掲示し地域との融和を図った。</p>